

(別紙様式)

令和元年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立コザ高校定時制課程
記載者名	知花 史尚

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	0	1	0	13	0	0	14

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	3	0	0				3

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	13	52	0				65

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 学校便り <input checked="" type="checkbox"/> 保護者への説明会 <input type="checkbox"/> その他()
学校関係者評価	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 学校便り <input checked="" type="checkbox"/> 保護者への説明会 <input type="checkbox"/> その他(学校評議員会での掲示)

5 平成30年度の学校評価を踏まえ、令和元年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

① 学びの継続を計る指導・連携体制の強化と充実(多層的面談指導や外部接続)
② 職人プロジェクトや生徒主体の企画・運営での各種取組の拡大
③ 2回のいじめアンケート実施といじめ情報の情報共有と対応の迅速化を図った。
④ 主体的活動の場を充実させ、自己肯定感の高揚を図ることができた
⑤

6 令和元年度の学校評価で明らかになった課題

① 休学・退学その他休講生の数を減らす事
② 主体的活動をより取り入れた授業改善や場面の創出
③ 基礎学力の向上
④ 課題の主体的で積極的な取組の推進
⑤

7 令和元年度の学校評価を活かした令和2年度の改善点

① 退学率を抑制し休学・休講生を減少させる取組の推進
② 職人プロジェクトの拡大と主体的活動を促進させる仕組みづくり
③ 苦手意識を克服し将来を見据えた基礎学力の指導
④ 成功体験や有用感を高め各個人の課題に主体的・積極的に関わり授業・行事の運営工夫
⑤